

平成20年9月4日

JARIP会員各位
非会員ご登録者各位

日本保険・年金リスク学会
研究会担当理事
栗山晃・福田敬・清水信広

JARIP 平成20年度第5回研究会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、日本保険・年金リスク学会（JARIP）では会員の研鑽のため、重要なテーマについてより深く研究討議を行う研究会を実施しております。
このたびは東京大学のご支援をいただき、共催研究会として下記の要領で開催いたします。

今回は「国際会計基準およびカナダ GAAP を巡る動向」のテーマで、アラン・ブレンダー博士（OSFI 資本会計調査部の非常勤特別顧問）および、サイモン・カーティス氏（マニユライフ・ファイナンシャル エグゼクティブ・バイスプレジデント兼チーフ・アクチュアリー）より、ご講演をいただきます。

まず、カナダの会計基準（C-GAAP）およびヴァリュエーション手法（CALM）の仕組み、考え方と現在の状況をご紹介いただき、次いで IFRS との比較対照を行い、最後に国際会計基準導入にかかる負債の評価方法案に対するカナダの保険監督当局（OSFI）およびカナダアクチュアリー会（CIA）の見解をご報告頂く予定です。

なお、講演は英語で行なわれますが、通訳はつきません。

ご講演の後の質疑応答や意見交換を通じてさらに理解を深めていきたいと考えております。
会員各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。

敬具

記

1. 第5回研究会

日時：平成20年（2008年）9月24日（水曜日） 2時から5時

場所：東京大学(駒場)数理科学研究科棟 123号室（京王線 駒場東大前駅下車すぐ）

講師：アラン・ブレンダー（FCIA・FSA・CERA）博士（OSFI 資本会計調査部の非常勤特別顧問）および、サイモン・カーティス氏（マニユライフ・ファイナンシャル エグゼクティブ・バイスプレジデント兼チーフ・アクチュアリー）

（講師略歴をご参照ください）

講演題目：国際会計基準およびカナダ GAAP を巡る動向

講演の概要：

国際会計基準導入にかかる負債の評価方法案に対して、カナダの保険監督当局（OSFI）およびカナダアクチュアリー会（CIA）の見解を述べる。この前提としてカナダの会計基準（CGAAP）およびヴァリュエーション手法（CALM）のしくみと現状、また IFRS との比較対照を行うことにより、C-GAAP の思想を紹介する。

・ プリンシパル・ベースによるヴァリュエーションと公正価値 ～ カナダにおける経緯と現状 (サイモン・カーティス氏)

・ カナダにおける IFRS の導入～監督者の見解 (アラン・ブレンダー博士)

2. 参加申込

参加希望者のお名前・所属組織名・Eメールアドレス・電話番号に加え、

「9月24日の第5回研究会への参加申込」と明記の上、Eメールにて

To : office@jarip.org (日本保険・年金リスク学会事務局)

cc : kuriyama_akira@mail.asahi-life.co.jp (同研究会担当：栗山晃)

迄お申込ください。

参加申込は9月18日（木曜日）迄とさせていただきます。

3. 参加費

研究会の参加費は無料ですが、資料代などの実費をカバーするため、会場にて 1,000 円程度のカンパをお願いしております。趣旨ご高配の上、ご協力いただきますよう宜しくお願い申し上げます。またカンパの趣旨から領収書の発行は行っておりません、ご了承ください。

以上

講師略歴：

アラン・ブレンダー博士 (FCIA・FSA・CERA) (OSFI 資本会計調査部の非常勤特別顧問)

・カナダへの国際会計基準の導入および保険会社の資本規制の改定についてのアドバイスを
を行なっている。2005 年末まで OSFI 数理部のシニア・ディレクターを務めていた。

・現在、カナダ・アクチュアリー財団の議長および米国アクチュアリー財団の理事として
活躍している。

・カナダ・アクチュアリー会 (CIA) のバイスプレジデント、

・SOA の理事会のメンバーを歴任。

・現在は国際アクチュアリー会のソルベンシー小委員会のメンバーであり、保険監督者
国際機構から出版された A Global Framework for Insurer Solvency Assessment in 2004 の
監修を行なった。

・ソルベンシー小委員会において現在作成中の報告書 “Guidance on the Use of Internal

Models for Risk and Capital Management Purposes by Insurers ” の主任共同著作者でもある。

・CIA のタスクフォースの一員として、現在ではダイナミック資本充分性テストとして知られ、カナダの保険会社が毎年行なうことが義務付けられているストレス・テストのベースになるプロセスであるダイナミック・ソルベンシー・テストの開発をリードした経験を持つ。

・また、MCCSR（カナダにおける生命保険資本要件）の主要設計者であり、その業績を基にアメリカのRBC 要件が策定された。

サイモン・カーティス氏（マニユライフ・ファイナンシャル エグゼクティブ・バイスプレジデント兼チーフ・アクチュアリー）

・サイモン・カーティスは、エグゼクティブ・バイスプレジデント兼チーフ・アクチュアリーとしてマニユライフ・ファイナンシャルのグローバル・レポート・ベースにおける責任準備金、利源分析、エンベディッド・バリューその他数理上の情報開示を統括すると同時に、契約者配当およびダイナミック資本充分性テスト等、指定アクチュアリーとしての法定上の業務を担当。更に、連結法定資本報告の承認を含む、マニユライフ全体の法定資本のレポートと管理を統括。

・ハリファクスのマリタイム・ライフにアクチュアリー研究会員として入社し、その後、すぐに準会員としてマニユライフに入社して 20 年になる。

・近年における主な業績として、マニユライフの株式会社化における数理関連業務の担当、そして同社が日本に進出した際の財務分析・モデリングの統括が挙げられる。

・2001 年 7 月にはビジネス・ディベロップメント部門のバイスプレジデントに就任、企業買収を含むコーポレートの戦略企画を担当した。

・2002 年 11 月にはコーポレート数理部門のバイスプレジデント兼副指定アクチュアリー

・2003 年 3 月にはシニア・バイスプレジデント兼チーフ・アクチュアリー、

・2004 年 4 月にジョン・ハンコックとの合併と同時にエグゼクティブ・バイスプレジデント兼チーフ・アクチュアリーに就任し現在に至る。

・トロント大学で統計学と保険数理の学位を取得、1985 年にカナダアクチュアリー会及び SOA の正会員となっている。また、アメリカン・アカデミー・オブ・アクチュアリーの会員でもある。

・カナダアクチュアリー会（CIA）の指定アクチュアリー役割委員会委員長。

・更に、カナダの生命・健康保険協会のソルベンシー委員会の委員長および OSFI（カナダ監督当局）下のリスクベース資本について進言する顧問団の共同議長でもある。

・その他これまでに多くのタスクフォースや委員会で活躍し、カナダアクチュアリー会の理事会のメンバーを務めた経験も持つ。